

ムカシの競馬を読む

平成16年・東京競馬場
フェブラリース
優勝馬:アドマイヤドン

© JRA



第105回 10年・20年・30年前の2月

今から10年前、平成16年の2月というと、アドマイヤドンがフェブラリースを制した月である。前年のフェブラリースで11着と大敗し、前走のJCダートでは際どいハナ差で敗れていたアドマイヤドンだが、両方の懲罰を一気に晴らす解消だった。単勝配当は1.3倍だったが、これはフェブラリースの歴史で最も安いもの。それだけ信頼され、またそれに応えられる人気馬だったということだ。

この月には、競馬産業にとってめでたい出来事があった。正確にいうともともと身に覚えのない因縁をつけられたような事案だったのそれが解消されて当然というような話なのだが、それでもめでたいことはめでたいのではないかと思う。平成16年2月7日付の神奈川新聞から引用しよう。

「横浜市は6日までに、同市独自の法定外普通税『勝馬投票券発売税』の導入を断念する方針を固め



ムカシの競馬を読む



須田鷹雄

1970年東京生まれ。競馬ライター。サラブレーダー。大阪日刊スポーツなど各種媒体に寄稿中。

の月ではないかと思われる。
平成6年2月13日付のサンスポから引用する。

「12日未明から太平洋岸を中心へ降り続いた大雪は、首都圏を一面の銀世界に染めた。東京、埼玉、神奈川、静岡などで大雪警報が発令され、東京では23センチの積雪を記録。昭和44年3月12日(30センチ)に次ぐ25年ぶりの大雪となつた。このため鉄道や道路、空港など交通網は寸断され、都会の足元の弱さを露呈とともに、各界・各所で経済的なダメージが出た(中略)中央競馬が開催中止になった。東京競馬場ではこの日、メーンのバレンタインSなど12レース、阪神競馬場でもメーンの水ノ山Sなど12レースが予定されていた。雪のため東西が中止になるのは史上初。JRAによると、先週の土曜日(5日)の東京、阪神の売り上げはそれぞれ約18.2億円、8.8億円あり、この日も東京が18.0億円、阪神が90億円程度の売り上げが見込まれていた」

史上初の東西同時中止である(第3場である小倉は開催)。さらには...。

「13日の第1回東京競馬6日目は競馬場内の除雪が困難なため開催中止となり、きょう14日に代替開催される。また降雪で中止とな

った」

史上初の東西同時中止である(第3場である小倉は開催)。さらには...。

「13日の第1回東京競馬6日